

中國出土資料學會
平成24年度第1回例会・臨時總會

會員各位

来る7月21日に本年度第1回例会が開催されますが、報告者である北條会員が事故入院のため、報告者を変更致します。

日時：平成24年7月21日（土）
平成24年度第1回例会
受付開始 12：30～
研究報告 13：00～17：00
臨時總會 17：00～18：00

場所：流通経済大学・新松戸キャンパス高層棟202教室
（千葉県松戸市新松戸3-2-1）
会場へのアクセス：JR（常磐線・武蔵野線）新松戸駅より徒歩4分

報告Ⅰ 井ノ口 哲也（東京学芸大学教育学部准教授）

発表題目：後漢時代における顔回像

発表概要：顔回は、孔子の弟子の中で、ただ一人、孔子から自分より優秀であると認められた弟子である。彼は、孔子が認めたとおりの人物として、後世の人々から正しく評価されてきたであろうか？

本発表では、『論語』本文、『史記』孔子世家・仲尼弟子列伝、『莊子』における孔子と顔回に託した会話、近時公表された上海博楚簡『顔回問於孔子』等を手がかりとして、前漢末までに形成された顔回像を明らかにしたうえで、それが後漢時代における顔回像にどのように影響を与えているのかを考察するものである。

報告Ⅱ 袁 國華（中國醫藥大學中醫學系副教授）

発表題目：「武威醫簡注釋及相關問題研究舉隅」提要

発表概要：武威醫簡乃漢朝遺物，一九七二年，甘肅武威旱灘坡地漢墓出土。簡牘出土前已散亂，經由重新組編排序，保存竹簡七十八枚，木牘十四枚。

簡文內容有醫治內科、外科、婦科等病的醫方，以及實施針灸及其禁忌的記錄。其中又有「右治百病方」的簡題一枚，其右簡所記為醫治各科疑難雜症的醫方。

木牘內容亦屬醫方，特別之處，在於標出方名，如「公孫君方」、「建威耿將軍方」等。另外有木牘一枚專記中藥名稱、數量及價格，甚為珍貴。此外又有木牘一枚，甲面所載似與鬼神信仰有關，乙面所記則兼有與日書宜忌類似的內容。

本文的內容在於根據過去各種研究成果，檢討目前所見武威醫簡專書兩種的注釋，將當中尚待商榷的問題，舉其要者加以分析討論，尚期對武威醫簡的解讀有所幫助。惟疏陋難免，還望大雅君子，不吝賜教。

報告Ⅲ 大西 克也（東京大学文学部准教授）

発表題目：「統一期における秦の文字改革——「與」「予」「鼠」「泰」などを例として」（仮題）

☆参加費(資料代) 500円

☆非会員の来聴を歓迎します

☆大会終了の後、懇親会を行う予定です。ふるってご参加ください。

連絡先 (例会委員長)

〒400-0035

山梨県甲府市飯田 5 - 1 1 - 1

山梨県立大学国際政策学部

名和研究室

Tel 055-224-5276 (直通)

Fax 055-228-6819

E-mail : nawa@yamanashi-ken.ac.jp

